

L^AT_EX で数式を書いてみよう¹

1 複素関数の Laurent 級数展開

1.1 Laurent 展開

関数 $f(z)$ が円環領域 $D : r < |z - a| < R$ で正則ならば, D において Laurent 級数

$$\begin{aligned} f(z) &= \sum_{n=-\infty}^{\infty} a_n(z-c)^n \\ &= \cdots + \frac{a_{-2}}{(z-c)^2} + \frac{a_{-1}}{z-c} + a_0 + a_1(z-c) + a_2(z-c)^2 + \cdots \end{aligned}$$

に展開される. 右辺の級数は, $r + \delta \leq |z - c| \leq R + \delta$ [$\delta > 0$] で一様収束する. そして, 係数 a_n はただひとつおりに定まり,

$$a_n = \frac{f^{(n)}(c)}{n!} = \frac{1}{2\pi i} \int_{\gamma} \frac{f(\zeta)}{(\zeta - c)^{n+1}} d\zeta \quad (1)$$

で与えられる. ここに, γ は D 内で c を一周する閉曲線である.

とくに, a_n の負の項が有限個で, $a_{-h-1} = a_{-h-2} = \cdots = 0$ ならば, 関数 $f(z)$ は $0 < |z - c| < R$ で正則で, 点 c は h の極であり, また, $g(z) = (z - c)^h f(z)$ は $|z - c| < R$ で正則で,

$$a_n = \frac{g^{(n+h)}(c)}{(n+h)!}$$

となる. 係数 a_{-1} は $f(z)$ の c における留数である.

1.2 関数 $f(z)$ の円環領域

Laurent 展開を適用する場合の, 関数 $f(z)$ の円環領域の例が図 1 である.

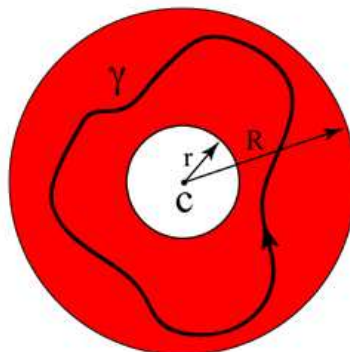


図 1: 円環領域の例.

¹森口, 宇田川, 一松著, 「岩波 数学公式 II 級数・フーリエ解析」, 岩波書店より.